

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

<圏域内の市町が抱える地域課題や大学・高校等に期待する取組>

区分	テーマ	地域課題の概要
①生活交通の維持・確保	地方ローカル線の利用促進及び沿線地域の活性化	・地方ローカル線では利用者数が減少しており、地方ローカル線及び沿線地域の衰退が懸念されている。

市町名	大学・高校等に期待する取組
三原市	JR呉線の利用者が減少傾向にあるため、呉線の利用促進につながる取組を検討していただきたい。 (JR三原駅、須波駅、幸崎駅)
三次市	JR芸備線、JR福塩線の利用者が減少傾向にあり、利用促進や沿線地域の活性化や魅力発信につながる取組を検討していただきたい。
大竹市	JR玖波駅周辺では住宅建設は進んでいるものの、商業施設など人が立ち寄る場所がほとんどない。周辺地域の活性化が進めばJRのみならずバスなどの公共交通利用増にもつながることから、周辺地域の活性化に資する取組について検討していただきたい。
坂町	JR沿線の地域コミュニティの活性化を図る施策について検討していただきたい。
安芸太田町	町民の人口が減少していく中で、公共交通利用者数も減少している。町民だけでの利用者数増加には限りがあるため、町外の方の利用促進案を提案していただきたい。
世羅町	現状のダイヤを活用した観光客を取り込む利用促進策を提案していただきたい。
岩国市	地域住民の日常生活や観光・交流による地域活性化に欠くことのできない鉄路について、将来の日本を担う学生に、若者目線で検討していただきたい。
出雲市	JR山陰本線の利用者は減少傾向にあり、駅周辺の衰退が懸念されている。島根県を事務局とする沿線市町と商工会議所等で組織する協議会で補助制度を創設し、利用促進を図っているが、成果は上がっていない。JRの利用促進につながる取組を検討していただきたい。 また、山陰地方唯一の私鉄となる一畑電車については、島根県と沿線市である松江市、出雲市で組織する協議会で、上下分離方式による多額の支援を行っている。出雲大社行きの路線が運行していることから、観光客の利用も年々増えているが、更なる利用を進めるための取組について検討していただきたい。
益田市	JR山口線、JR山陰本線ともに利用者が少なく、駅の存続及び駅周辺の衰退が懸念されている。効率的且つ持続可能な移動手段の確保のための取組並びに利用促進のための取組について検討していただきたい。